

## 第34回 家族関係学セミナープログラム

日時：2014年10月11日（土）12時30分～10月12日（日）13時  
開催校・会場：大妻女子大学

### 日 程

10月11日（土）		
12時30分～	受付	A棟1階 155教室前
13時～16時	公開シンポジウム テーマ：「生(命)の終焉と個人・家族」	A棟1階155教室
16時30分～17時30分	総会	A棟1階155教室
17時45分～20時00分	懇親会	地下1階 アトリウム
10月12日（日）		
9時～	受付	155教室前 *市ヶ谷方面入口のみ入館可
9時30分～	自由報告	
	A：第1分科会	A棟1階155教室
	B：第2分科会	A棟1階157教室
	C：第3分科会	A棟1階164教室

【第34回家族関係学セミナー事務局】  
大妻女子大学家政学部ライフデザイン学科  
小澤千穂子研究室  
〒102-8357 千代田区三番町12  
tel：03-5275-6074  
E-mail：chihoko.ozawa@otsuma.ac.jp

## 第1日 10月11日(土)

12時30分 ～ 受付

13時 ～ 16時

公開シンポジウム

A棟1階155教室

### 「生(命)の終焉と個人・家族」

司 会：吉原 千賀 (高千穂大学)

趣旨説明：竹田 美知 (神戸松蔭女子学院大学)

#### 【趣旨】

科学技術の高度化・多様化は、私たちの生活を豊かにしてきましたが、その反面様々なリスクを背負う生活を余儀なくされています。されに、個人の自由もそのリスクに対する自己責任とセットで手渡されるようになってきています。

医療技術の高度化・多様化の中、私たちは、生(命)の終焉の場面においても当事者本人と家族が、その選択を迫られており、それに伴う自由とリスク、自己責任といった葛藤に直面しているといえます。

本シンポジウムでは、「家族関係学」の立場から、このような生(命)の終焉に際し、シンポジストの報告を基にどの様に個人と家族のウェルビーイング(well-being)を実現していくかを、考えていきたいと思ひます。

今回のシンポジウムでは、①「医療高度化時代における尊厳ある生(命)の終わり」とバイオエシックス②「尊厳あるいのちの終わり」と医療」に関わる医療技術、医者、本人、家族、社会などとの関係、③「終末期医療における患者の意思と家族の意思～認知症高齢者の自己決定権を中心に～」について、④「再帰的近代社会における生(命)の終焉と家族関係学」について、それぞれの領域における研究者・実践者を招き、その研究成果や実践の場面での課題等から考察を試みたいと思ひます。

#### 【シンポジスト】

報告1 木村利人 氏(早稲田大学ライフサポートイノベーション研究所招聘研究員)

「医療高度化時代における尊厳ある生(命)の終わり」とバイオエシックス」

報告2 辻彼南雄 氏(水道橋東口クリニック院長)

「尊厳ある生命の終わり」と医療」

報告3 袖井孝子 氏(一般社団法人シニア社会学会会長)

「終末期における患者の意思と家族の意思～認知症高齢者の自己決定権を中心に～」

報告4 細江容子 氏(実践女子大学)

「再帰的近代社会における生(命)の終焉と家族関係学」

16時30分 ～ 17時30分 総 会

A棟1階155教室

17時45分 ～ 20時00分 懇親会

地下1階アトリウム

**第2日 10月12日(日)**

9時 ～ 受付

155教室前

9時30分 ～ 12:35 自由報告 (○印は報告者)

報告20分(1鈴:終了1分前、2鈴:終了) 質疑応答 5分 計25分

**A会場: 第1分科会 A棟1階155教室**

座長: 宮坂 靖子(奈良大学)

1. 中国における性の知識の獲得とリプロダクティブヘルス 唐 笑水(奈良女子大学・院)
2. 教科書で描かれる「高齢者」とこれからのジェロントロジー教育の在り方  
: 日韓の比較をふまえて 杉井 潤子(京都教育大学)・金 珠賢(ソウル国立大学)
3. 公的年金制度から見た韓国の家族構造 成 惠映(韓国 国民年金研究院)

【休憩】10時45分 ～ 10時55分

座長: 杉井 潤子(京都教育大学)

5. 老老介護における家族介護者の思いに関する研究  
- 都市近郊部と中山間地域の居住地域による違い - 福田 峰子(金城学院大学大学院)
6. 日本国憲法と国際人権規約における家族と教育の倫理  
- 個人のアイデンティティ形成と自立の観点から - 小野瀬裕子(共立女子大学・非)
7. 夫婦和合論における「性的和合」言説の構成とその意味  
- 1920年代『主婦之友』を資料として - 宮坂 靖子(奈良大学)
8. 最近25年間の家族変動の特質 湯沢 雍彦(元・お茶の水女子大学)

**B会場: 第2分科会 A棟1階157教室**

座長: 冬木 春子(静岡大学)

1. 現代の地方都市における育児援助ネットワーク  
- 2013年愛知県刈谷市調査データを中心に -  
○山根 真理(愛知教育大学)・平井 晶子(神戸大学)・李 璟媛(岡山大学)
2. 東大阪市子育て調査報告①: 子育て世帯が抱える育児ニーズ  
- 自治体間比較と世帯移動の可能性 - ○青木 加奈子(奈良女子大学)・菊池 真理  
(大阪産業大学)・菊池 慶子(奈良女子大学・院)

3. 東大阪市子育て調査報告②：世帯移動と母親のネットワーク  
— 一定住・移住志向を規定する要因 — ○菊池 慶子（奈良女子大学・院）・菊池 真理  
（大阪産業大学）・青木 加奈子（奈良女子大学）

【休憩】10時45分 ～ 10時55分

座長：山根 真理（愛知教育大学）

4. DVと家族 民間シェルターの支援実践を手がかりに  
小川 真理子（お茶の水女子大学・院）
5. ステップファミリーにおける複線化する親子関係  
：別居実親子関係が同居継親子関係に及ぼす影響 菊池 真理（大阪産業大学）
6. 夫の家事参加への意味づけ — 食事作りを中心に — 高山 純子（お茶の水女子大学・院）
7. 父子家庭の父親の家事労働に関する考察 — 家事労働時間と家事意識・家事スキルの視点より  
○永田 晴子（大妻女子大学）・渡邊 千恵子（尚綱学院大学）

**C会場：第3分科会 A棟1階164教室**

座長：坂本 有芳（鳴門教育大学）

1. 中年期未婚女性の家庭内労働と就業 大風 薫（お茶の水女子大学・院）
2. 子育て期女性における友人関係の形成過程 松島 悦子（和洋女子大学）

【休憩】10時20分 ～ 10時55分

座長：松島 悦子（和洋女子大学）

5. 母親の働きかたと子の生活時間 — 発達段階別の検討 —  
○坂本 有芳（鳴門教育大学）・岩下 好美（テンブル大学）・高丸 理香（お茶の水女子  
大学・院）・岡村 利恵（お茶の水女子大学・院）・劉 楠（お茶の水女子大学）
6. 母親役割と時間の過不足感  
○蟹江 教子（宇都宮共和大学）・大風 薫（お茶の水女子大学・院）・  
中川 まり（カリタス女子短期大学）・坂本 有芳（鳴門教育大学）
7. 家庭科の学びと働く母親のワーク・ライフ・バランス  
○佐野 潤子（大妻女子大学・非）・藤田 智子（東京学芸大学）・  
花形 美緒（お茶の水女子大学・院）・坂本 有芳（鳴門教育大学）